

課題抽出にあたっての各種調査結果

1. 半田市の地域概況の整理

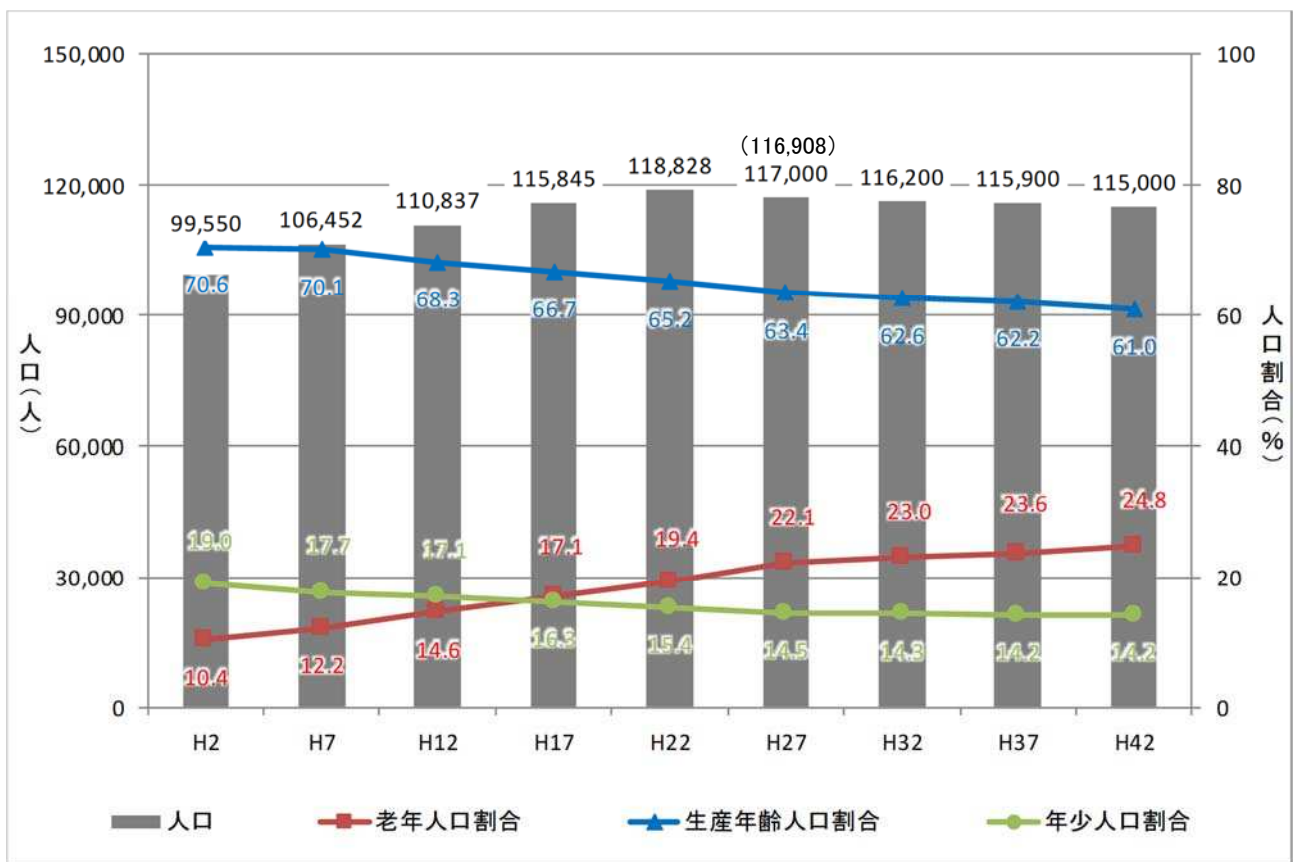
(1) 半田市の概況

1) 人口動態

①人口推移

半田市の人口は、平成22年をピークに減少に転じ、平成27年国勢調査では116,908人、半田市人口ビジョンによる平成32年の推計値は116,200人、平成42年の推計値は115,000人となっています。また、年齢3区分別の人口割合では、老年人口割合のみ増加が予測されています。

図 人口推移



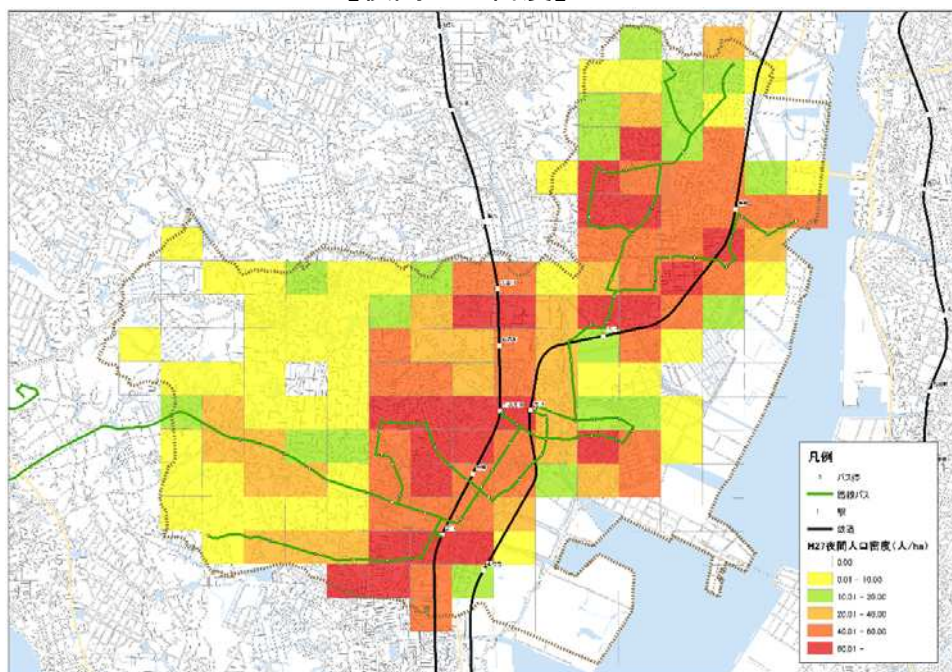
資料：半田市人口ビジョン、H27 国勢調査

②人口分布

平成27年の夜間人口密度の分布状況は、亀崎駅、知多半田駅、半田駅及び青山駅等の鉄道駅周辺及びバス路線沿線で人口密度が高い地域が存在しています。

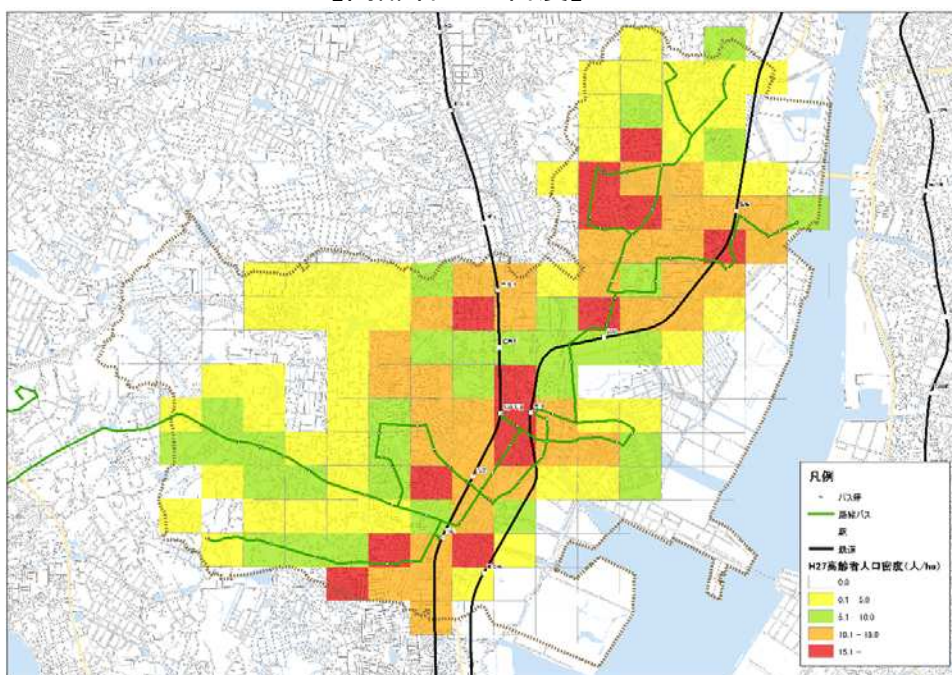
また、高齢者人口密度は、知多半田駅と半田駅の間、東成岩駅西側及び長根住宅周辺等で高齢者人口密度が高い地域が存在しています。

図 人口分布（平成 27 年）
【夜間人口密度】



資料：平成 27 年国勢調査

【高齢者人口密度】

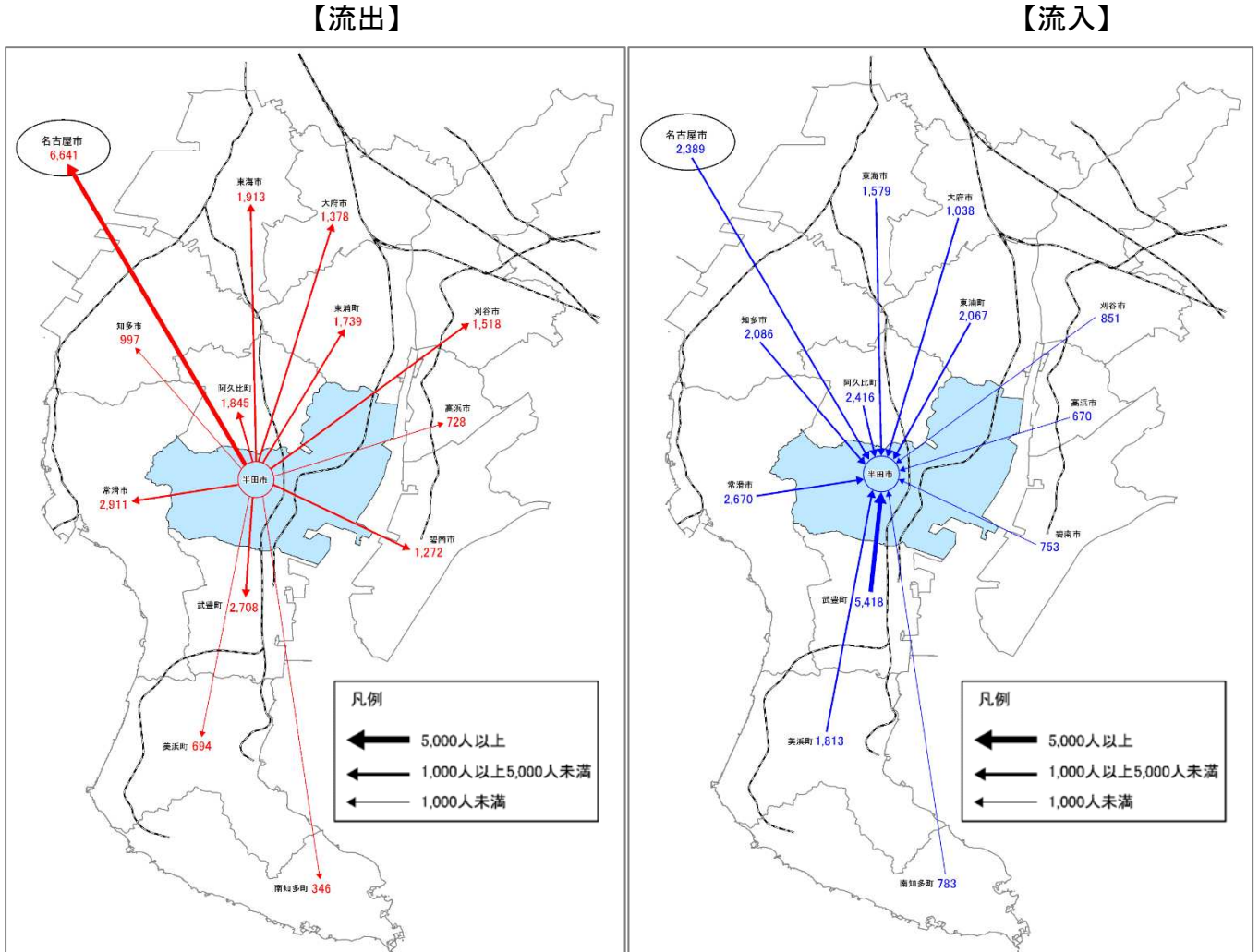


資料：平成 27 年国勢調査

③通勤通学人口流動

平成27年国勢調査における通勤通学流動を見ると、流出・入とも名古屋市との結びつきが最も高く、次いで、流出では常滑市、武豊町の順、流入では、武豊町、常滑市の順に多い状況にあります。

図 通勤通学人口流動



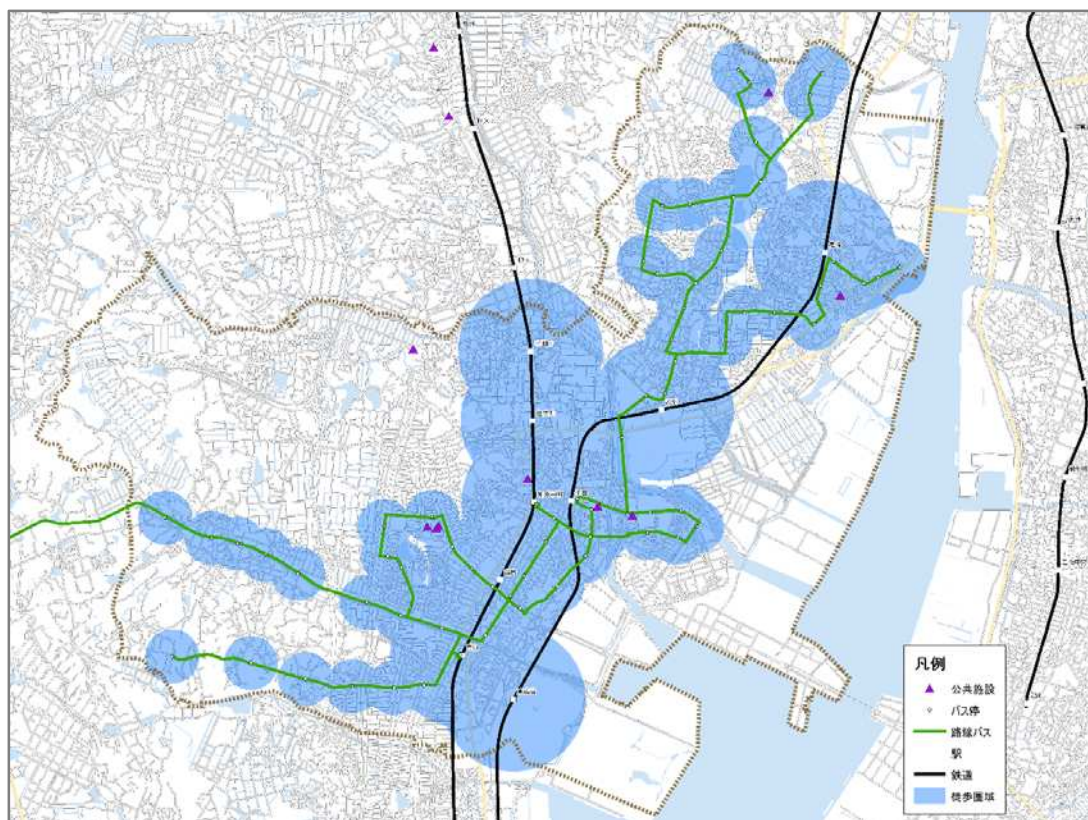
資料：平成27年国勢調査

2) 施設概況

①主要集客施設の立地状況

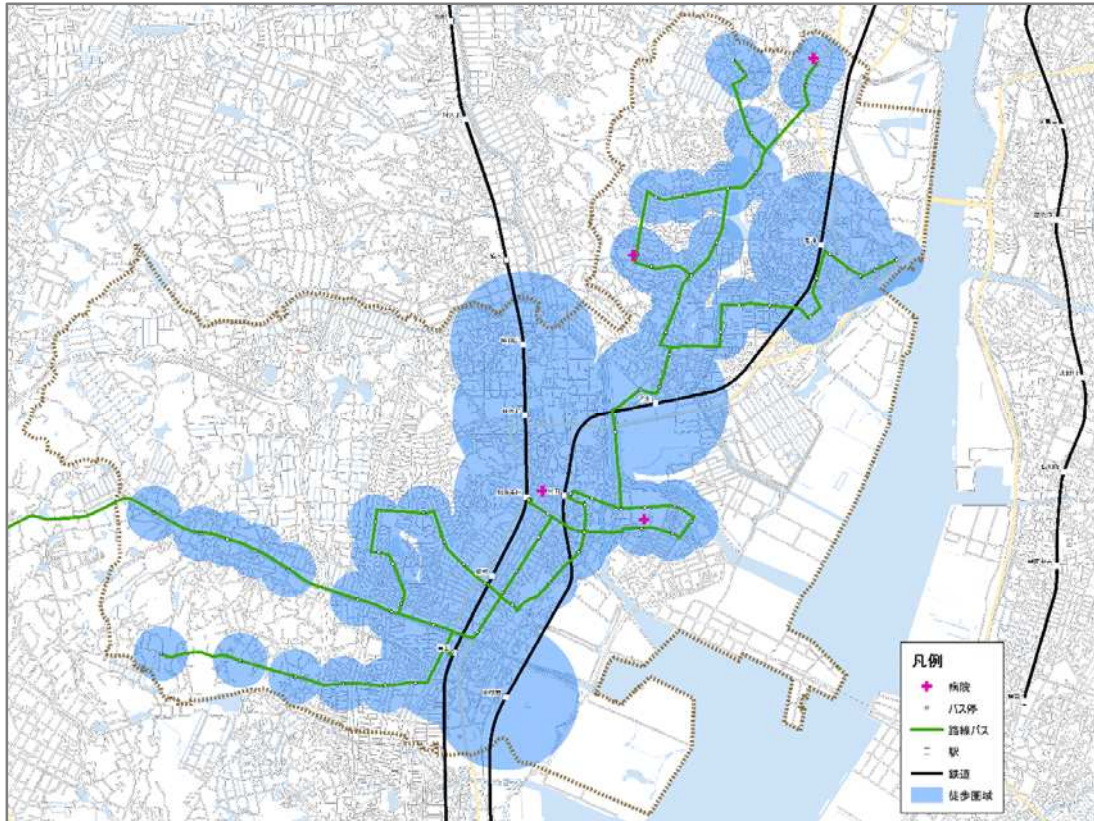
市役所、図書館、学校、病院、大規模商業施設（店舗面積が1,000㎡以上）などの主要集客施設の多くは、鉄道駅やバス停周辺に立地するものの、徒歩圏域（駅から800mまたはバス停から300m）から外れる施設も存在します。また、新美南吉記念館等の観光レクリエーション施設についても、公共交通での利用が困難な施設が存在します。

図 公共施設の立地状況



資料：国土交通省「国土数値情報」

図 病院の立地状況



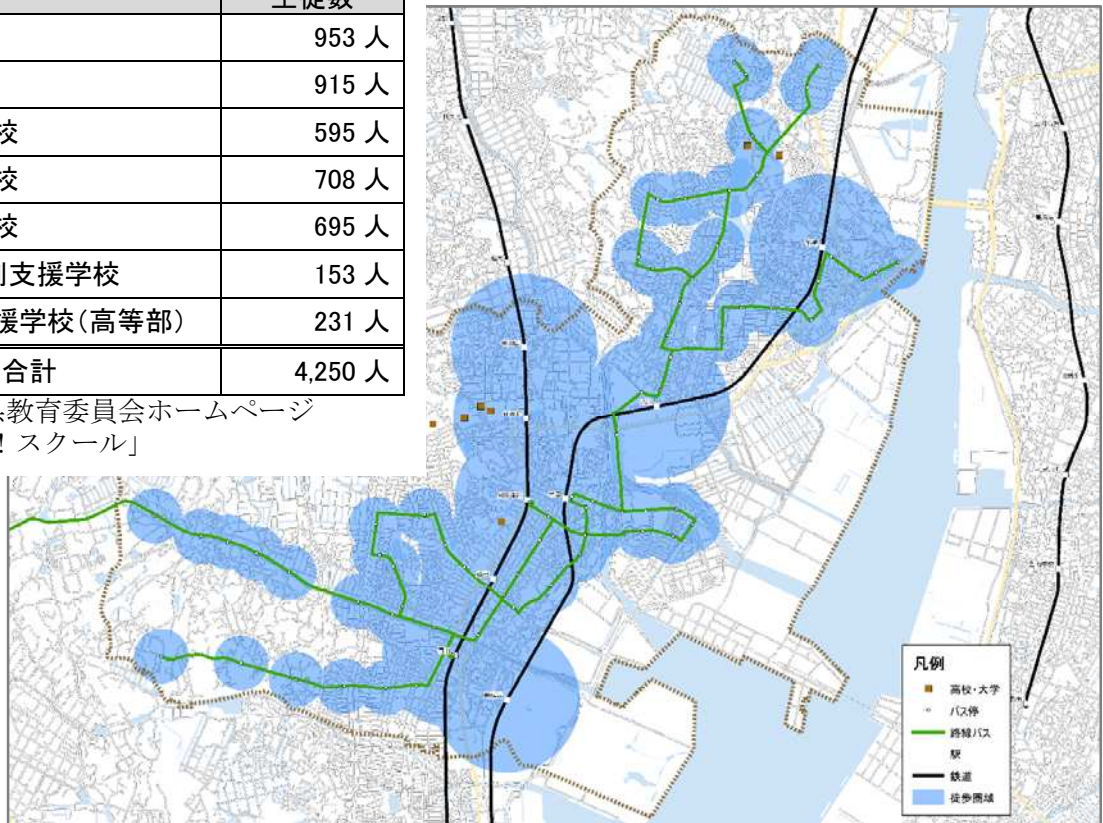
資料：国土交通省「国土数値情報」

表 市内に立地する高等学校等の生徒数

学校名	平成 29 年度 生徒数
半田高校	953 人
半田東高校	915 人
半田農業高校	595 人
半田工業高校	708 人
半田商業高校	695 人
ひいらぎ特別支援学校	153 人
半田特別支援学校(高等部)	231 人
合計	4,250 人

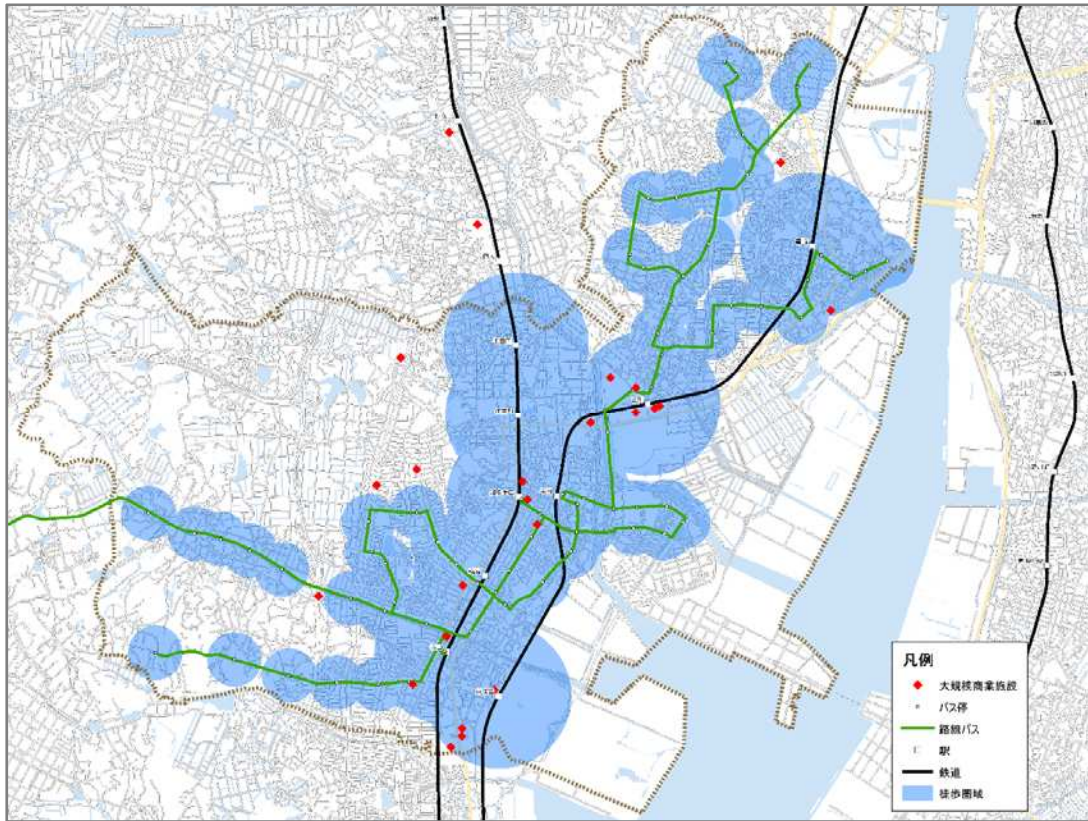
資料：愛知県教育委員会ホームページ
「探そマイ！スクール」

図 高校・大学の立地状況



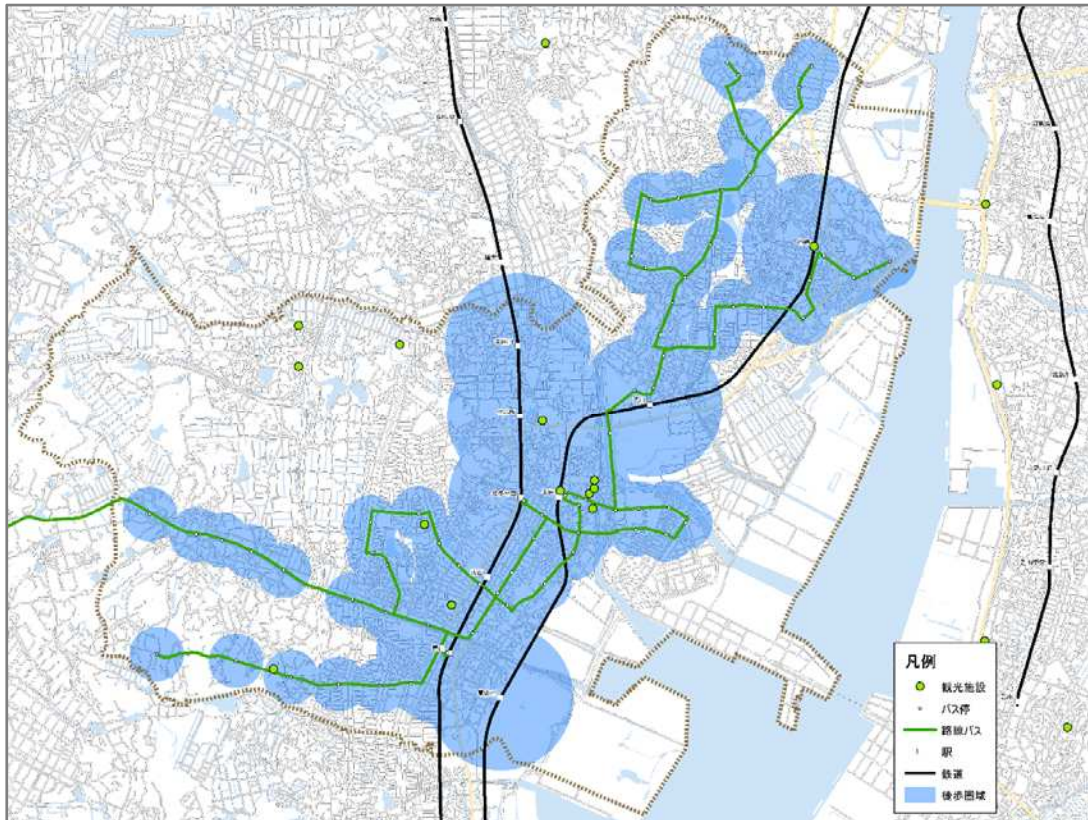
資料：国土交通省「国土数値情報」

図 大規模商業施設の立地状況



資料：(株) 東洋経済新報社「大型小売店データ 2015 年度版」

図 観光施設の立地状況



資料：国土交通省「国土数値情報」

②観光資源の現状

市内観光資源入込客数の推移を見ると、年度により集計施設数は異なるものの、観光入込客数は増加傾向にあり、平成 28 年度現在約 154 万人の利用があります。

年間 10 万人の利用を超える観光資源（施設・イベント）は、春の山車祭り（市内 10 地区計）約 19 万人、魚太郎（飲食・カフェ）が約 14 万人、彼岸花イベント（童話の村秋祭り）及び博物館（酔の里）がともに約 11 万人、ごんぎつねの湯が約 10 万人となっています。

表 観光資源別入込客数の推移

イベント名	内容	観光客数(年度)						
		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
主要観光施設	ごんぎつねの湯	102,650 人	100,459 人	101,264 人	103,161 人	113,856 人	110,971 人	104,242 人
	國盛 酒の文化館	51,565 人	52,836 人	44,594 人	43,606 人	45,129 人	54,107 人	53,044 人
	博物館「酔の里」	97,129 人	103,160 人	102,652 人	59,386 人	0 人	40,726 人	106,158 人
	半田市立博物館	92,732 人	92,273 人	96,211 人	97,766 人	96,647 人	87,520 人	90,400 人
	新美南吉記念館	54,022 人	50,442 人	73,755 人	108,704 人	57,327 人	55,381 人	59,611 人
	半六庭園	-	-	-	-	-	21,386 人	59,966 人
	魚太郎(飲食・カフェ)	125,124 人	109,057 人	129,449 人	126,823 人	128,997 人	145,817 人	144,424 人
	その他 (T's café)	-	8,726 人	8,331 人	2,008 人	0 人	0 人	0 人
蔵のまちイベント	端午の節句など	35,239 人	12,988 人	26,377 人	26,671 人	27,495 人	26,092 人	32,781 人
紺屋海道イベント	ゆかたde紺屋海道	1,200 人	0 人	300 人	500 人	0 人	0 人	0 人
彼岸花イベント	童話の村 秋まつり	132,500 人	134,500 人	142,000 人	152,000 人	139,000 人	146,000 人	111,000 人
南吉関連イベント	南吉ネットワーク等	-	-	-	20,950 人	4,668 人	6,636 人	5,910 人
はんだふれあい産業まつり	JFEスチール、半田運動公園	40,000 人	43,000 人	16,000 人	39,000 人	40,000 人	40,000 人	42,000 人
赤レンガ公開	特別公開、一般公開	18,700 人	27,800 人	22,650 人	41,500 人	0 人	900 人	1,000 人
春の山車祭り	市内 10 地区	159,800 人	160,500 人	177,000 人	189,000 人	188,000 人	175,000 人	189,800 人
イルミネーション	中心市街地商店街イルミネーション点灯式	1,250 人	1,000 人	1,000 人	1,100 人	1,180 人	900 人	1,000 人
いちご狩り	市野園芸、澤田農園	74,877 人	79,493 人	87,178 人	85,978 人	92,177 人	88,373 人	65,534 人
計		986,788 人	976,234 人	1,028,761 人	1,098,153 人	934,476 人	1,318,801 人	1,540,410 人

資料：半田市資料

資料：第 6 次半田市総合計画

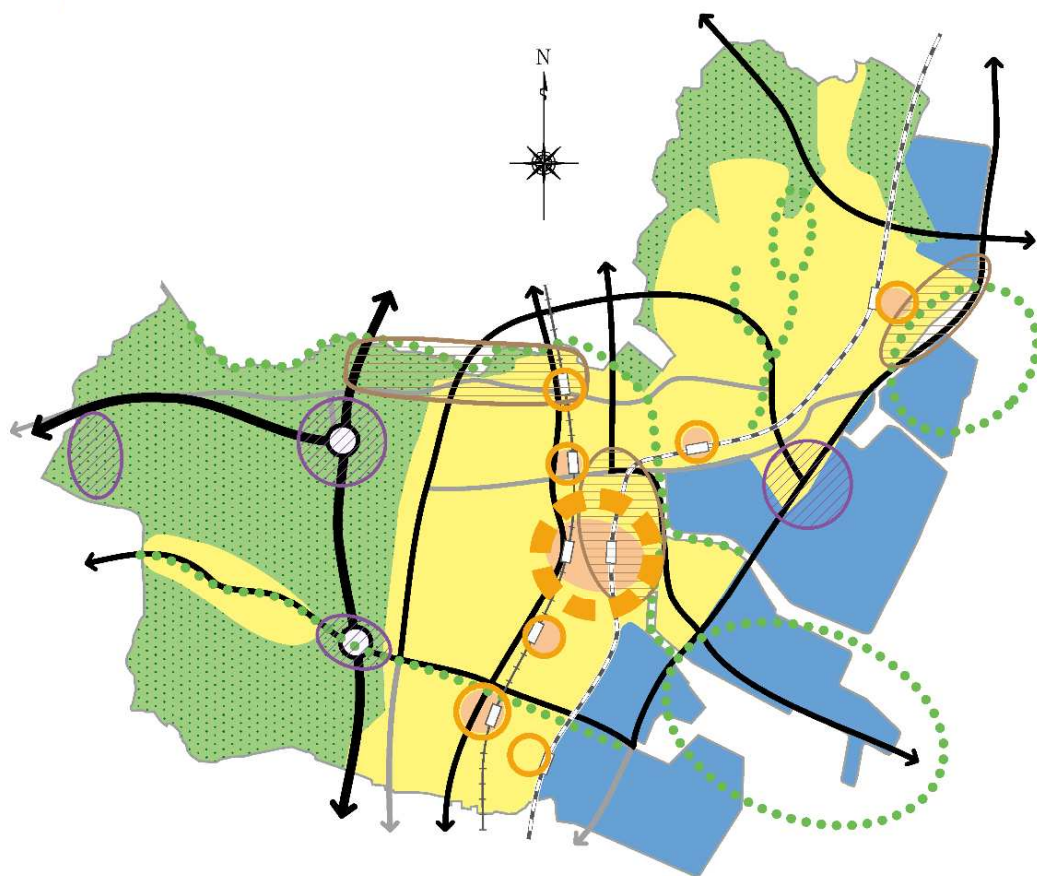
(2) 上位・関連計画の整理

①第6次半田市総合計画

第6次半田市総合計画改訂版（平成23年度～平成32年度）では、「次代へつなぐ市民協働都市・はんだ」を将来都市像に掲げています。まちづくりの目標として「①協働による自立した地域経営のまち」「②地域資源を生かし魅力ある文化を創造・発信し続けるまちづくり」「③安全で快適な環境のもとで安心して暮らせるまちづくり」を掲げています。

施策の方向のうち、「IV 安全で快適に住み続けられるまち」では、「【都市基盤】安全で快適な都市活動を支える住宅・交通基盤を充実します」として、中心市街地における都市機能の集積やまちなか居住の推進によるにぎわいの創出、鉄道駅を生かした地域拠点の形成、駅周辺の交通拠点としての利便性向上が示されています。

図 土地利用構想図（第6次半田市総合計画）



凡 例			
●/○	中心市街地/地域拠点	○	歴史・文化・観光ゾーン
■	居住系地域	○	新規土地需要ゾーン
■	商業系地域	—	主要骨格道路
■	工業系地域	—	骨格道路
■	農業系地域	—	J R 線
■	親水・自然ゾーン	—	名鉄線

資料：第6次半田市総合計画改訂版

②半田市都市計画マスタープラン

半田市都市計画マスタープラン（平成23年度～平成32年度）では、「市民が誇れる賑わいと活力に満ちた、住み続けたいまち半田」を都市づくりのテーマとし、都市づくりの5つの目標（「知多半島の拠点にふさわしいまち 半田」「機能的で暮らしやすいまち 半田」「歴史と文化が薫るまち 半田」「環境と共生するまち 半田」「協働でつくるまち 半田」）を掲げています。

図 将来都市構造図（半田市都市計画マスタープラン）



公共交通関連施策（抜粋整理）		
都市拠点	中心拠点	名鉄知多半田駅・JR半田駅周辺から市役所・半田病院までのエリアは、公的サービス・商業・文化などの都市機能の集積と土地の用途にあわせた高度な利用を図ります。
	地域拠点	鉄道駅周辺は日常生活に必要な機能の集積を図るとともに、中心拠点と連携することで地域の機能を補完します。
機能別ゾーン・拠点	歴史・文化・観光ゾーン	半田運河周辺・半田赤レンガ建物などを含む区域・岩滑地区・亀崎地区は、地域の歴史・文化の保全・活用を図ります。
	文化拠点	半田市立図書館・博物館周辺は、文化施設の充実を図ります。
活力創造軸		半田の歴史や文化が感じられる雁宿公園から中心拠点・半田運河・衣浦港までは、都市機能の集積を図り、にぎわいと活力に満ちた空間を創出します。

資料：半田市都市計画マスタープラン

③半田市地域公共交通条例

半田市では、市民をはじめとした地域公共交通に関わる全ての者が一体となり、将来にわたって持続可能な地域公共交通が十分に機能を発揮するために、半田市地域公共交通条例（平成28年度制定）を制定しています。

この条例では、「市長及び議会、市民及び自治区並びに事業者及び公共交通事業者は、地域公共交通の機能が将来にわたって十分に発揮されるよう、地域の特性に応じた地域公共交通のネットワークの構築、良質な運送サービスの確保等を行うことにより、一体となって、本市の地域公共交通に能動的かつ継続的に関わっていかなければならない。」という基本理念を定めています。

そして、市長や議会の責務、市民及び自治区、事業者、公共交通事業者の役割、地域公共交通に関する基本施策等を定めています。

表 半田市地域公共交通条例における関係主体の責務・役割（条例より抜粋）

	関係主体の責務・役割
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関する基本施策を総合的かつ計画的に策定し、これを実施しなければならない。 ・基本施策を実施するに当たっては、議会、市民及び自治区、事業者及び公共交通事業者並びに周辺自治体に理解を求め、その協力を得られるよう努めなければならない。 ・市民に対し、地域公共交通を積極的に利用することについての意識の啓発を行うよう努めなければならない。
議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関する活動に主体的に参加するとともに、市長と市民及び自治区とを結び、連携して基本施策の立案及び推進に協力しなければならない。
市民及び自治区	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域公共交通を実現するための担い手の一員であることを自覚し、地域公共交通に対する理解を深めるよう努めるものとする。 ・自動車の過度な利用を控え、地域公共交通を積極的に利用するよう努めるものとする。 ・地域公共交通に関する活動に参画し、基本施策の推進に協力するよう努めるものとする。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対し、地域公共交通を積極的に利用することについての意識の啓発を行うよう努めるものとする。 ・事業活動、従業員の通勤等において、自動車の過度な利用を控え、地域公共交通を利用するよう配慮するものとする。 ・基本施策の推進に協力するよう努めるものとする。
公共交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・運営する地域公共交通について利用状況を把握するとともに、市民及び自治区の意見を十分に聴き、その運営に反映させるよう努めるものとする。 ・社会的な役割を認識した上で、地域公共交通の利便性を向上させるとともに、市長、市民及び自治区並びに事業者に対し、地域公共交通の利用に関する情報の積極的な提供等により、その利用を促進するよう努めるものとする。 ・基本施策の推進に協力するよう努めるものとする。